

言語比較に基づく文法研究

共通教育科

武久 智一 准教授

【研究分野】 言語学、英語学（統語論・語彙意味論・形態論）

【キーワード】 統語と語彙意味の関係

【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=3181ake>



研究概要

英語や日本語などの自然言語の文法現象の観察・記述を通して、ヒトのこばを生まだす仕組みへの接近を試みています。

研究紹介

●自然言語の統語項の分布と解釈
文を構成する述語と項の関係について研究しています。例えば、

He broke his leg.

という文における主語項は、[1] 何かを行うことにより足を骨折させた解釈（動作主解釈）か [2] 何かが起こった結果、自身の足を骨折した解釈（所有者解釈）のいずれかを持つことが知られていますが、[2] の解釈は常に得られるわけではなく、例えば、

He punched his leg.

という文の主語項は [1] の動作主解釈しか持ちません。また、[2] のような所有者解釈に関しては、英語や日本語では主語項を持つ一方で、例えばドイツ語などの言語では間接目的語項を持つことが知られています。つまるところ、項の種類と可能な解釈との間に見られる関係については、単一の言語内においても、複数の言語間においても、差異が見られるのですが、これらの差異を統一的に扱う分析を生成文法理論及び分散形態論の枠組みに基づいて追求しています。

講座テーマ紹介

- 高校出張講座
 - ・「日本語と英語の違いいろいろ」
 - ・「文のしくみ・語のしくみ」
 - ・「英和辞書を使いこなそう」

アピールポイントなど

言語学・英語学を専門としていますが、大学では主に医療系・理工系の学生を対象とした英語教育に従事してきました。日常生活や職場での使用に耐える英語運用能力の涵養を目的として、基礎教育及びリメディアル教育の観点から基礎的内容（文法や発音など）の教育を重視しています。